

# 本業の重要テーマ

## 1 天然素材由来のセロテープ®で環境課題に貢献

「セロテープ®」は、1948年の発売当初から一貫して主な原料に天然素材を使用しています。セロハンの原料は木材パルプ、粘着剤は天然ゴムや天然樹脂が主成分で、巻心は再生紙です。日本を含め多くの国では、セロハンに比べて強度や防水性の高いプラスチックフィルムを利用したOPPの粘着テープが販売されていますが、これらは化石資源を原料としていることに加え、焼却時の新規のCO<sub>2</sub>や有害ガス発生の問題を抱えています。一方、カーボンニュートラル<sup>\*</sup>な素材である「セロテープ®」は、OPPの粘着テープと比較して、焼却時のCO<sub>2</sub>排出量を約7分の1に抑えることができます。

環境にやさしい循環型のエコロジー製品であり、脱プラスチックに貢献できる「セロテープ®」は、一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会が主催する「ソーシャルプロダクツ・アワード2020」において、大賞を受賞しました。

※樹木は成長過程で二酸化炭素を吸収して酸素を排出するため、焼却廃棄時に大気中のCO<sub>2</sub>増減に影響を与えないという考え方。

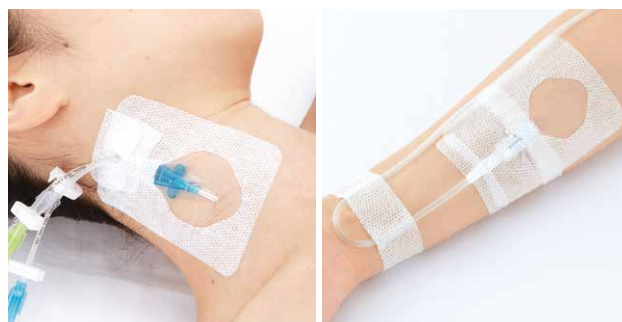


「セロテープ®」の主な原料

## 2 製品を通じた感染予防への貢献

注射や採血後の被覆保護や静脈ラインの圧迫止血など、用途に応じた感染予防製品として、穿刺部被覆保護用絆創膏「セサブリック™」シリーズをご提供しています。当シリーズは、処置に要する煩雑さの解消や、血液による汚染を防止します。

また「カテリープラス™」シリーズは、業界で初めてウレタンジェル粘着剤を採用した、透湿性の高いフィルムドレッシング材です。カテーテル関連血流感染における予防対策として、カテーテル挿入部位の定期的な観察と長期間の安定した固定性が求められています。これらにお応えする「カテリープラス™」シリーズは、高い透湿性により長期間の固定性と皮膚へのやさしさを両立しています。厳重な管理が必要とされるICUなどの集中治療の現場や、化学療法室など皮膚の脆弱な患者さまが多い現場など、感染予防を必要とする数多くの医療現場でご使用いただいています。



### 3 患者さまのQOL向上を目指して

手術後の傷は、皮膚が引っ張られることや衣類との摩擦などによる物理的な刺激から赤く盛り上がり、目立つ傷あとになることがあります。傷あとに悩む方を一人でも減らしたいとの思いから、手術後の傷あと専用テープ「アトファイン™」を開発しました。物理的な刺激から傷あとを保護する「アトファイン™」は、皮膚にやさしい粘着剤の採用により、はがす時の刺激を最小限にしています。また、角をなくしたウェーブ形状のテープは貼っていても違和感が少ないため、ケアが必要な期間、貼り続けることが可能です。これまで、帝王切開や乳がん手術をはじめ、外科手術を受けた多くの患者さまにお使いいただいています。今後も粘着技術を通じて、医療および患者さまのQOL向上に貢献していきます。



「アトファイン™」は傷あとにあわせて5つのサイズをラインアップ

### 4 家庭系食品ロスの削減に向けて

日本では、本来食べられるにもかかわらず捨てられる食品ロスが、年間で612万t発生しています。その内、食べ残しや過剰除去、直接廃棄などを原因とする家庭からの食品ロスは、284万tに上ります\*。これらを減らすべく官民が連携して取り組む「食品ロス削減国民運動」にニチバンも賛同し、「ディアキチ™ ワザアリ™ テープ」の活用を広く提案しています。保存容器の中身や日付をテープに書き込み、ラベルとして使用することが、食材を使い切る・食べ切ることにつながることをより多くの皆さまへご紹介し、食品ロス削減に貢献していきます。

\*総務省人口推計(平成29年10月1日)平成29年度食料需給表(確定値)より



テープに容器の中身や調理日を記し、「うっかり」ロスを防ぐ

### 本業にかかわる4つの重要テーマを軸に

ニチングループでは、社員によるディスカッション、経営層や社外取締役、グループ会社社長へのヒアリングを経て、「サステナビリティ重要テーマ」を策定しました。その中で改めて見えてきたのは、当社グループのビジネス、つまり「本業」が持続可能な社会の実現に貢献できるということです。

主力製品である「セロテープ®」の原料は、天然素材が中心です。この特性をより強く訴求し、お客さまに「セロテープ®」を選択していただくことで、脱プラスチックを推進します。また、海外には感染に関する課題を抱えている国が多くあります。感染予防には適切な止血処置が重要であることを伝えながら、当社の止血絆創膏を提案することで、公衆衛生の向上に寄与したいと考えています。

国内では、高齢化が進む中で医療の充実が求められています。体に貼ったテープから薬を取り込む経皮吸収製剤は、誤嚥や飲み忘れを防ぐことができ、患者さまのQOLの向上にも

つながります。これまで培ってきた粘着技術によって、この分野にも積極的に取り組んでいきます。日常生活においても、食品ロス削減に役立つ製品を提案することで、ゴミの削減や資源の有効活用への意識啓発に貢献していきます。

「サステナビリティ重要テーマ」の策定を機に、誠意と熱意を持って目の前の仕事に取り組むことが世界の課題解決につながることをすべての社員と共有しながら、事業活動を加速させていきます。

常務執行役員  
経営企画室長 兼  
広報宣伝部長  
高橋 泰彦

